

競技者注意事項（引率責任者必読）

1. 練習について

- ・場所、方法については役員の指示に従い練習を行うこと。

2. 招集について

- ・選手招集場はメインスタンド上、園路沿いスペースに設ける。
- (1) 招集時刻は下記による。(招集時間は各種目競技開始時刻を基準とする)。

	予選(タイムレース)		決勝	
	開始	完了	開始	完了
トラック競技	30分前	25分前	25分前	15分前
フィールド競技			45分前	35分前

- (2) 競技者は出場種目の招集開始時刻に集合し、完了時刻までに係員の点呼(ナンバーカード、スパイクピンの確認)を受けた後、係員の誘導により競技場所に移動する。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集所で配布された「腰ナンバー標識」を右腰やや後方につけ、終了後フィニッシュ地点で返却すること。
- (4) 招集完了時刻に係員の点呼を受けていない場合は、競技へ出場できない。

3. 競技について

- (1) 競技規則は2024年度日本陸上競技連盟規則並びに本予選会規定と申合せによる。
- (2) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (3) 素足での競技は禁止する。(全天候走路では火傷の危険があるため)
- (4) スパイクは使用可能。ただし9mm以下(走高跳・ジャベリックボール投は12mm以下)の並行ピンを使用すること。(ニードルピンは使用不可、運動靴は雨天時に滑りやすい)
- (5) スタートのコールは、イングリッシュコールで行う。
- (6) 100m、80mH、4×100mRのスタート方法は、クラウチングスタートとする。(スターティングブロックは決勝のみ使用可能)
- (7) トラック競技のスタートにおける失格は、同じ競技者が2回目の不正スタートをしたとき、その競技者は失格とする。
- (8) 100m、80mH、4×100mRはセパレートコースを使用するので自分のレーンを走ること。また、競技者の安全のため走り終えても自分のレーン(曲走路)から出ないこと。
- (9) トラック競技の予選は、タイムレースとし、100m、80mHは上位8名以内、4×100mRは上位8チーム以内、800mは上位12名以内で決勝レースを行う。
- (10) タイムによる決勝ラウンドに進む出場者の決定について、最後の1枠に同成績がある場合、0.001秒の実時間を判定し決定する。それでも決定できない場合は抽選を行う。
- (11) 決勝出場者は予選終了後速やかにアナウンスするので、決勝出場の準備をしておくこと。また、決勝の招集時刻には再度、点呼を受けること。
- (12) リレーの予選に出場するチームは、受付時にスタートリストへ直接オーダーを記入すること。但し、決勝はオーダー用紙を競技開始1時間前までに招集所へ提出すること。(決勝用のオーダー用紙は招集所に準備されているものを使用する。)
- (13) 4×100mRにおけるテイク・オーバーゾーンは30mとする。
- (14) 4×100mRに4名で申し込んだチームが、当日4名に満たない場合は出場できない。
(リレーにエントリーした競技者以外はリレーに出場できない)
- (15) 80mHの規定

第1ハードルまで	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからフィニッシュ
13m	0.7m	7m	9台	11m

- (16) 走幅跳・ジャベリックボール投は、全員3回の試技を行い、上位8名はさらに3回の試技を行う。
- (17) 走高跳は、マットへの着地は足裏からのみとし、背・腰等からの着地は無効試技とする。(背面跳び、ベリーロール等は禁止)
- (18) 走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。
男子(練習 90cm) 95cm-100cm-105cm-110cm-115cm-120cm-125cm 以後 3cmずつ上げる。
女子(練習 90cm) 95cm-100cm-105cm-110cm-115cm-120cm 以後 3cmずつ上げる。
- (19) ジャベリックボール投はやり投ピットを使用し(投てき角度もやり投同様)助走は15m以内とする。

4. 表彰について

男女各種目とも8位まで表彰する。

成績発表後、招集のアナウンスがあり次第メインスタンド上、表彰テントに集合すること。

5. その他の注意事項

- (1) 更衣は各自で行い、貴重品については、各自・各チームで管理し、盗難には十分注意すること。
- (2) 競技中の傷害について、応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。
(その後の対応は、スポーツ傷害保険の範囲内とする)
- (3) 指定のアスリートビブス(大会要項参照)を各自で作成し、競技服装の胸背部につけること。
(アスリートビブスが不備の場合は、競技へ出場できない)
- (4) 競技場の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。
- (5) 競技場内の制限区域は、選手・役員以外の立入を禁止する。

6. 確認事項

予選会が中止になった場合、予選会にエントリーしていた競技者に限り、同一年度の競技会で標準記録をクリアしていれば府大会への出場を認める。ここで言う競技会は、府内公認競技場で公認審判員が測定する府内競技会に限る。

グラウンド内競技箇所図

